

# スピーチ&プレゼンテーション概要

(講師用)

## 【目標】

- ・ 自国の社会や文化について、まとまりのある話ができるようになる。
- ・ 話の展開に必要な表現を使って話す。
- ・ スピーチ後の質問に答えられるようになる。
- ・ なめらかにスピーチができるようになる。

## 【クラス】1 クラス6名

## 【スケジュール】

4月15日(木) オリエンテーション	L7 結婚
4月22日(木) L7スピーチ	L9 経済と人々の生活
4月28日(水) L9スピーチ	L10 習慣の違い
5月6日(木) L10スピーチ	L11 教育の問題、L14 社会問題
5月13日(木) L11/14スピーチ	発表会の準備
5月20日(木) 発表会の準備2 (個別指導)	
5月27日(木) スピーチ発表会	
6月3日(木) 発表会フィードバック (個人)	

\*4月29日(木)は 休みです。

## 【授業の進め方】

2学期に同じ

## 【評価】

授業の参加度 (スピーチ作成のための Q&A、発表時の質疑応答等)、スピーチ原稿 (毎週)、クラス内発表・公開発表会によって評価します。

## 初回の授業について

- ・ 初回の授業では、授業の目的や、進め方について確認してください。
- ・ クラス内で2回程度発表の機会をもつよう各課の発表者を確認してください。(スピーチ原稿の提出は原則として、全員毎回とします。)
- ・ 教材は、全体の内容、各コースで扱う課を確認してください。

トピック①②は2学期と同様スピーチの意味のまとまりを意識化させるもの、トピック③④は、トピックだけではなく、談話展開パターン(因果関係など)に、より注

目させ、「例えば」「一方」といった談話マーカーを使って、会話したり、スピーチ原稿を作成したりすることを目指しています。そのため、フローチャートは、各課のポイントとなる談話展開パターンを扱っています（L10以降）。Useful expressionsにも、談話マーカーと談話例を紹介しているものもあります。内容のまとまりがある答えを引き出すように心がけてください。

## 各トピックの留意点

### トピック① L7 結婚

- ・ 初回なので、研修生がなじみやすく、盛り上がりやすいテーマにしました。
- ・ 話の展開は2学期と同様、意味のまとまり（結婚の平均年齢、きっかけ、結婚式）で進んでいきます。
- ・ 比較の表現（「昔は～でしたが、今は～」や「昔と比べると」）、変化の表現（増えていきます、なります）などを使って、まとまった話ができるように指導してください。

### トピック② L9 経済と人々の生活

- ・ 談話展開は2学期と同様、意味のまとまり（物価、家計）で進みます。
- ・ なるべく具体例を挙げて各国の比較をしながら会話してください。  
例：物価例（肉、コーヒー、ハンバーガー、ガソリン、電気製品など）家計（家賃、食費、光熱費など）
- ・ クイズ形式にして話してもいいと思います。（p.97-98を紹介してください）  
例：大阪の100㎡のマンションはいくらで買えるでしょうか？  
例：次の中で一番高いのはどれでしょうか？ ①家賃 ②光熱費 ③食費

### トピック③ L10 対比する「習慣の違い」

- ・ ここから Step2 なので、はじめに p.91 を紹介し、Q&A の中でもまとまった発話ができるよう促してください。
- ・ 日本で印象的だったこと、びっくりしたことなど習慣の違いを感じたエピソードを引き出して話してみてください。
- ・ 5月8日、9日はホームステイをする人もいます。家族の生活や習慣の違いなどを観察し、最後の発表会につなげることもできるかもしれません。

### トピック④ L11 因果関係1「教育の問題」か L14 因果関係2「社会問題」

- ・ 研修生に聞いて、興味のあるほうを扱ってください。
- ・ 問題やその背景を説明したり、問題への対策に関する意見提出ができるようになるための表現は共通です（その結果、問題を解決するためになど）。
- ・ p137 にコンセプトマップがあります。考える時間を与えて、コンセプトマップを書いてみて、まとまった形で説明できるように促してください。